

# マスターシリンダーコンバートキット取り扱い説明書

Parts No.75-505 対応車種 1980年式 Z1000MK2(A4)

この度は、マスターシリンダーコンバートキットのお買い上げ、誠に有難うございます。

**注意；**本製品を取り付けし、ご使用になる前に本取り扱い説明書を、必ずお読み下さい。

**注意；**取り付け作業を行う前に製品に同封されているコーションラベルを、必ずお読み下さい。

**注意；**各部品の締め付けトルクなどは、装着する車輛のメーカーが発行するサービスマニュアルをご参照下さい。

## 1; 付属品の確認 写真左上順

- ① マスターカップ×1個
- ② M6 ステンレスボルト 長さ30mm×1本
- ③ M8 ステンレスボルト 長さ30mm×2本
- ④ ステンレスプッシュロッド×1本
- ⑤ プッシュロッドアダプター×1個
- ⑥ マスターシリンダーAssy×1個
- ⑦ マスターカップマウントスペーサー×1個
- ⑧ マスターシリンダーマウントカラー×2個
- ⑨ スプリングワッシャ M6×1枚
- ⑩ 平ワッシャ M6×1枚
- ⑪ リザーブタンクホース×1本



## 2; 取り付ける前に

2A…既に取り付けられているマスターシリンダーを取り外して下さい。純正のプッシュロッドからコネクティングブッシュ式を取り外して下さい。

## 3; コンバートキットの仮組み

3A…純正マスターの固定位置に⑧カラー、⑥マスターの順にセットし、③ボルトを使用して仮止めして下さい。

3B…⑥マスターのプッシュロッド用ロックナットを調整範囲いっぱいまでねじ込み、④ロッドを取り付けて下さい。

3C…④ロッドの先端に純正プッシュロッドのロックナットとコネクティングブッシュを仮止めして下さい。

## 4; 車体への取り付け

4A…純正のマスターカップ用マウントステーを車輛後ろ方向へ向けて固定します。

4B…②ボルト、⑨ワッシャ、⑩ワッシャ、①カップ、⑦スペーサー、純正のマスターカップ用マウントステーの順にセットして、マスターカップを固定します。

4C…⑪ホースを適度な長さにカットしてリザーブタンクとマスターシリンダーを接続します。

4D…各部ボルトを本締めして下さい。締め忘れがない様に確認して下さい。

**注意；**ホースが鋭角に折れていると、ブレーキフルードがマスターシリンダーに流れなくなりますのでご注意下さい。

## 5; ブレーキペダルの角度調整方法

5A…フレームのストッパーボルトを調整し、ブレーキペダルの角度を決定します。④ロッドを回し、純正のコネクティングブッシュの穴位置とブレーキペダルのコネクター穴位置を合わせ、純正ピンを使用して固定して下さい。プッシュロッドの各部ロックナットを固定して下さい。

5B…マスターシリンダーとブレーキペダルのコネクター部分を車体真後ろから覗き、ブレーキプッシュロッドが斜めになっている場合は、フレームとマスターシリンダーの間に適度な厚みのワッシャを用意して組み込んで調整して下さい。

## 6; 定期点検箇所

以下の作業を必ず行って下さい。

- ①各部のボルト、ナットの緩みなど
- ②定期的なグリス塗布箇所…ブレーキペダルの支点部分、コネクターボルト部分、フレームのマスターシリンダーマウントボルト部分。
- ③各ブレーキホース固定部分のオイル漏れなど

以上で取り付けは終了です。

ご不明な点は、購入店もしくは、(株)ピーエムシーまでお問合せ下さい。

